



ローカルSDGs 実践事例の前振り

～自立・分散型の持続可能な社会であるために～

2026年3月
環境省 中部地方環境事務所



持続可能な開発目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発

将来の世代がそのニーズを満たせる能力を損なうことなしに、現在のニーズを満たす開発

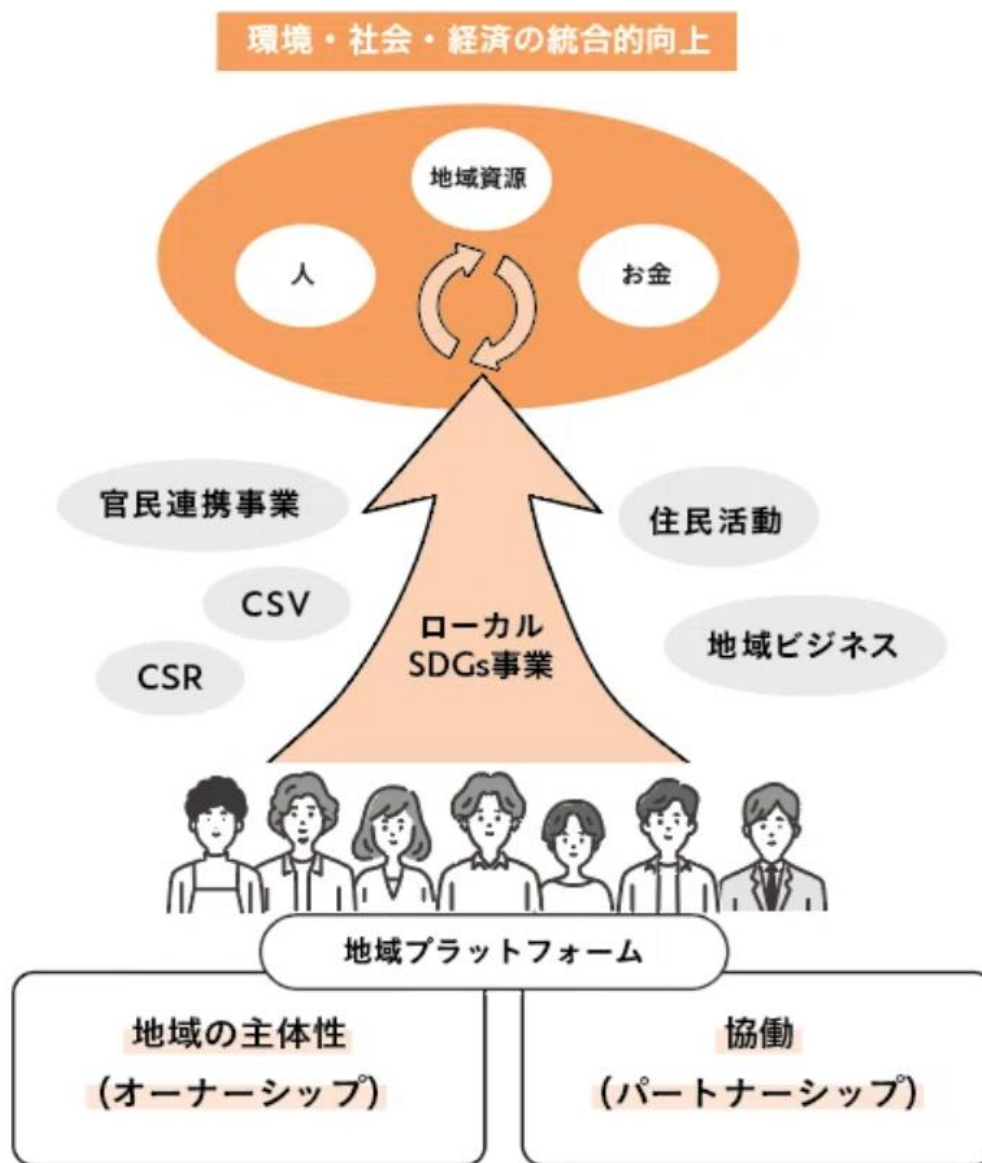


SDGsを達成するためには、17の目標を同時に取り組むことが重要
各目標は相互に関連しており、全ての目標が達成されることで持続可能な社会が実現される

「イマ」と「コレカラ」
地域が持続可能であるために

地域の誰が？何をすべき？

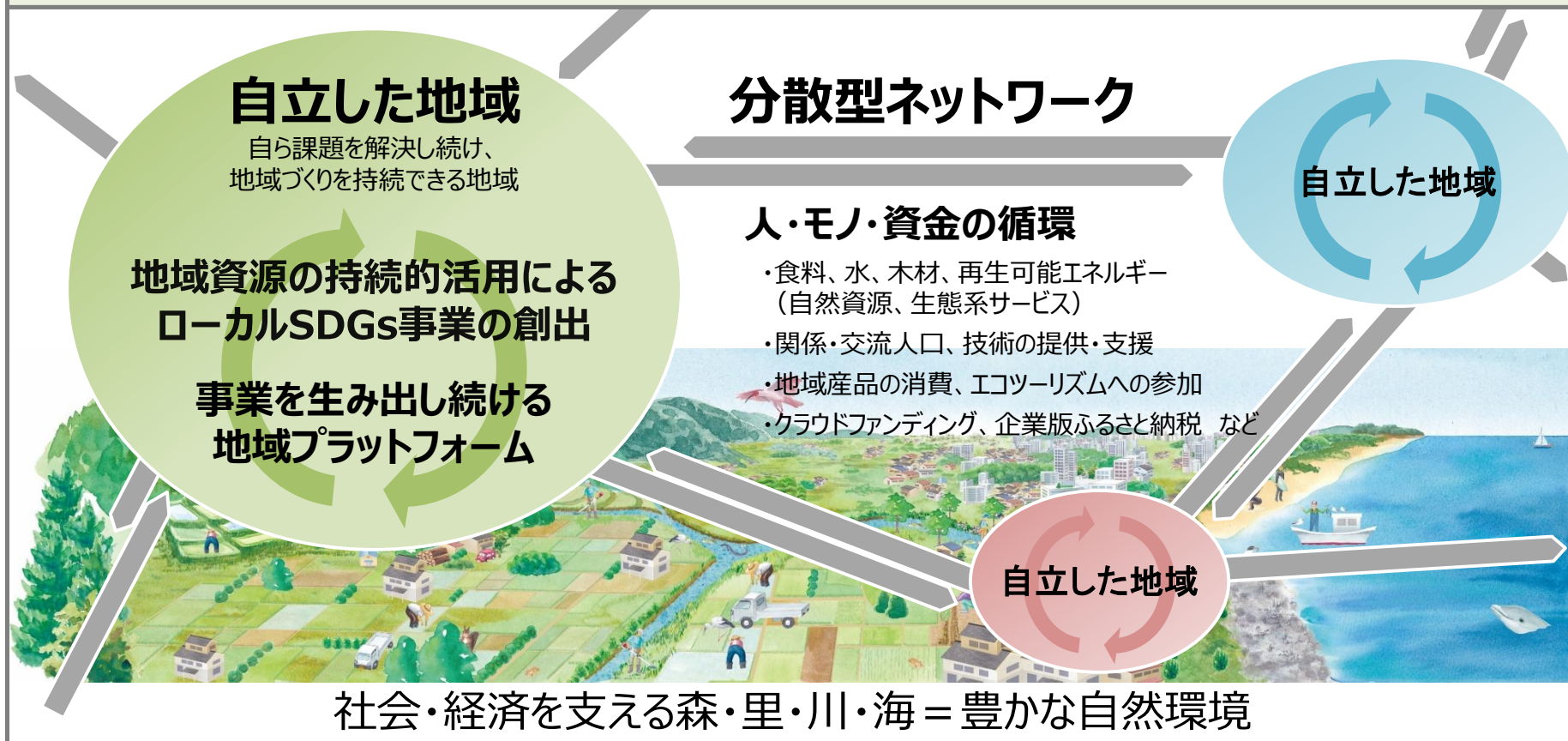
「地域プラットフォームの構築」と「ローカルSDGs事業の創出」



自立・分散型の持続可能な社会

地域循環共生圏 = 自立・分散型の持続可能な社会

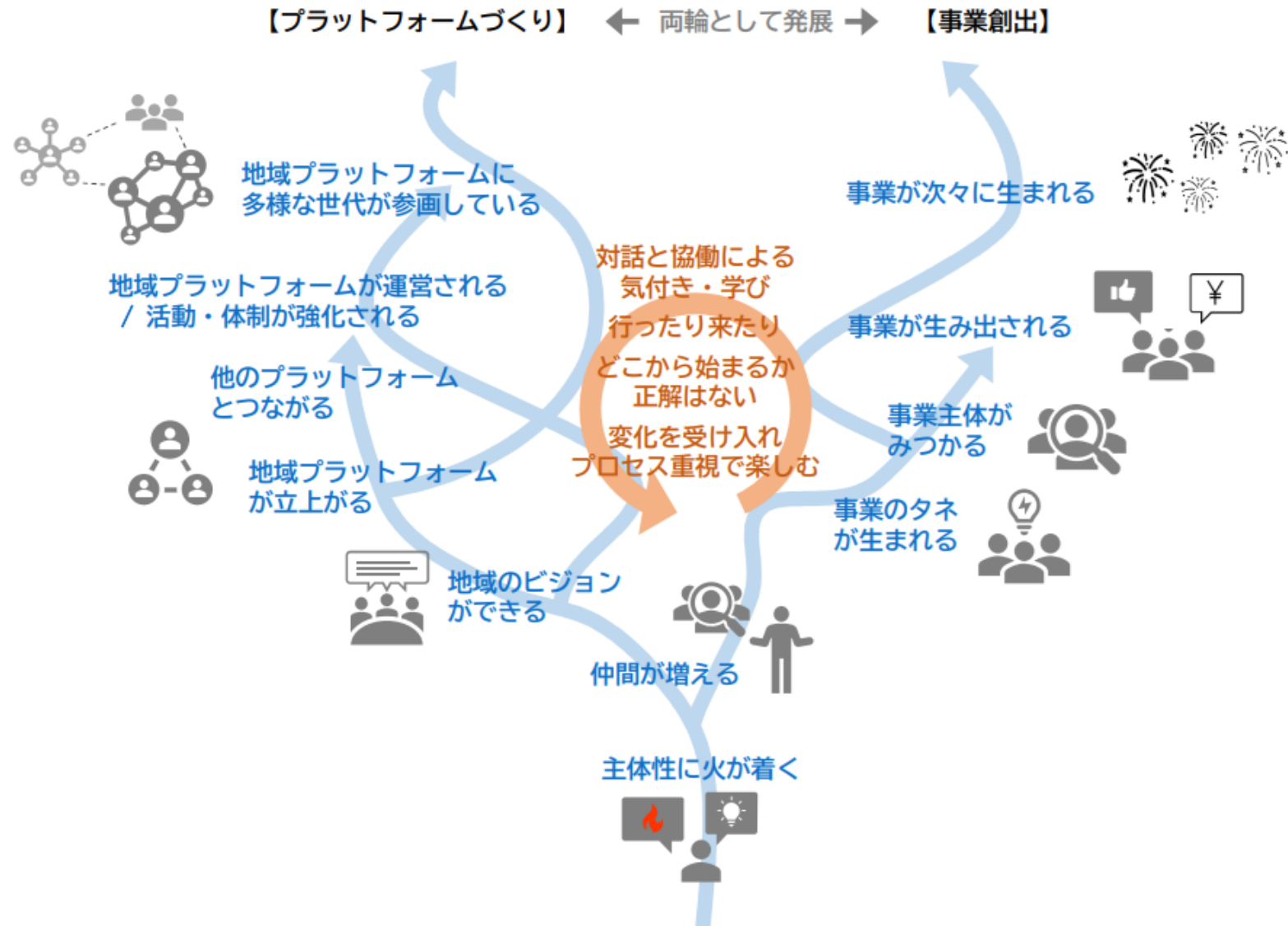
地域の主体性:オーナーシップ 地域内外との協働:パートナーシップ 環境・社会・経済課題の同時解決



・ **地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業**を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくとともに、地域の個性を活かして**地域同士が支え合うネットワークを形成**する「自立・分散型社会」を示す考え方。

・ 私たちの暮らしが、森里川海のつながりからもたらされる自然資源を含めて地上資源を主体として成り立つようにしていくために、これらの資源を持続可能な形で活用し、自然資本を維持・回復・充実していくことが前提。

地域循環共生圏づくりのプロセスのイメージ



地域プラットフォームを動かし支える人びと

